

西暦 2023年8月4日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究に対して当センターで保有する既存試料・情報を提供しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

記

提供元責任者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 小児がんセンター長/血液・腫瘍科主任部長 澤田 明久
研究課題名	新型コロナウイルス感染症がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響： がん登録を基盤とした調査
研究代表者 氏名・所属機関	氏名：宮代 勲 所属研究機関：地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター がん対策センター
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2016年1月～2018年12月および2022年1月～2022年12月に、大阪母子医療センターにおいて院内がん登録された患者
研究期間	2023年5月26日～2030年3月31日
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) がリアルワールドのがん医療に及ぼした影響を、がん登録を基盤とした調査により示す。 大阪府の新規がん患者の大部分をカバーするがん診療連携拠点病院等の院内がん登録に基づく調査を行い、診療情報データ的一种である DPC の情報を加えることで、COVID-19 がリアルワールドのがん医療に及ぼし影響を示す。 COVID-19 のみならず、今後発生する新たな感染症に対して、がん医療提供体制のあり方を考えるうえでの科学的根拠になると期待できる。
提供する試料・情報の項目や種類	院内がん登録データ (2016年～2018年、2022年診断症例) と DPC データ (2021年10月から2023年6月の様式1と入院 EF 統合ファイル、外来 EF 統合ファイル) から対象症例を抽出し、その両者を連結したデータであり、内容は、入院・外来を問わずがんの治療に係る情報です。
外部への試料・情報の提供	専用ソフトウェアを使い、調査対象がん患者のデータを抽出して匿名化・暗号化して保存した可搬媒体を、追跡サービス付きの方法で送付する。
研究組織 (提供する試料・情報を利用する者の範囲)	大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部副部長 森島敏隆、梶原麻里 疫学統計部主査 小山史穂子 疫学統計部統計研究職 馬 超辰

<p>研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法</p>	<p>本研究の研究対象者(等)が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。</p>
<p>個人情報の開示に係る手続き</p>	<p>本研究の研究対象者(等)から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間い合わせ先までご連絡下さい。</p>
<p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先</p>	<p>地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 小児がんセンター長/血液・腫瘍科主任部長 澤田 明久 電話 0725-56-1220 (代表)</p>